

## (4) 利根沼田地域 ～ ゆたかな緑と水に囲まれた「農業」「地域」を次世代へ～

### 「水」の保全整備

- 老朽化した農業水利施設の保全対策により用水の安定供給を図り、農業生産の安定を図る。
- かんがい用水の安定確保により、雨よけトマトなどの畑作物について、作付面積の拡大や生産性の向上を支援する。
- 農業水利施設の維持保全等を担う土地改良区の更なる体制強化により、地域農業の安定化を支援する。

#### 【当該年度評価の総括】

##### 1 農業水利施設の保全対策の推進

- 沼田平地区では、隧道補強工事に必要な立坑新設工事を実施した。
- 片品村で、トマトなどのかんがい用水を安定して確保するため、貯水槽等整備の支援を行った。

##### 2 土地改良区の施設管理や運営支援

- 4土地改良区において、機能保全計画の施設監視計画に基づく巡回点検等の支援を行った。

#### ◆ 農業水利施設の保全と用水の安定確保

##### ・効果的・効率的な施設の保全対策

	計 画	実 績	評価
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 機能保全計画に基づく、基幹農業水利施設の保全対策</li> <li>----- 1地区を実施</li> <li>※ 沼田平</li> <li>----- 1地区を支援</li> <li>※ 追貝平</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 機能保全計画に基づく、基幹農業水利施設の保全対策</li> <li>----- 1地区を実施</li> <li>※ 沼田平</li> <li>----- 1地区を支援</li> <li>※ 追貝平</li> </ul>	<b>B</b>
これまでの取組内容	<p><b>(今年度の取組内容)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼田平地区は、隧道の補強工事（内面補強工 40m）を実施した。</li> <li>・追貝平土地改良区の施設について、現地調査を行い、追貝平土地改良区及び沼田市と個別ヒアリング及び水道部局も含めた対策工事実施に向けた検討会議を1回行った。</li> <li>また、平川揚水ポンプ機の補修について、小規模農村整備事業により支援した。</li> <li>・4土地改良区において、機能保全計画の施設監視計画に基づく点検等を現地で支援した。</li> </ul>		
現状分析課題今後の予定	<p><b>(現状分析・課題・今後の予定)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼田平地区は、隧道の補強（内面補強工 40m）を年度内に完了する見込みである。引き続き来年度も内面補強工を進める。</li> <li>・引き続き追貝平土地改良区の施設について、令和3年度からの対策工事を見据えて関係者との調整を進める。</li> <li>・引き続き4土地改良区の施設監視を支援する。</li> </ul>		

## ・かんがい用水の安定確保

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ かんがい用水の安定確保 ----- 1地区を支援 ※ 片品村	▶ かんがい用水の安定確保 ----- 3地区を支援 ※ 片品村	<b>B</b>
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・ダゴジ沢地区の用水安定確保施設(沈殿槽)1箇所の整備を支援した。 ・上郷地区において、用水整備の構想策定を行った。 ・牛の平地区において、令和2年度からの畑地かんがい整備を実施する準備を整えた。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・片品村では、区画整理済み農地へのかんがい用水確保(防除用水含む)要望があるため、引き続き用水施設の整備を支援する。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
<b>基幹農業水利施設の保全対策に着手した地区数 [地区]</b>						
目 標	—	—	3	4	5	5
実 績	3	3	4	4	4	4
<b>保全対策により農業用水の安定供給が維持された農地面積 [ha]</b>						
目 標	—	—	868	922	1,134	1,374
実 績	643	704	922	926	980	1,114

※ 数値は、累計値。

## ◆ 土地改良区の運営体制の強化の推進

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 土地改良区体制強化基本計画の推進 4土地改良区の計画進行管理支援 ※ 沼田平、追貝平、赤谷川沿岸、赤城北ろく	▶ 土地改良区体制強化基本計画の推進 4土地改良区の計画進行管理支援 ※ 沼田平、追貝平、赤谷川沿岸、赤城北ろく	<b>A</b>
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・赤谷川沿岸土地改良区の個別課題に係る指導を行い、土地改良法の一部改正に連動した定款変更手続きについて、変更認可申請事務を支援した。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・管内に設置する「利根沼田土地改良区ネットワーク」において、各土地改良区の課題等へ対応を検討し個別指導を行う。 ・今年度、複式簿記を試行した土地改良区について、課題を確認し、本格導入まで引き続き支援を行う。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
<b>土地改良区体制強化基本計画を策定した土地改良区数 [土地改良区]</b>						
目 標	—	—	1	1	1	4
実 績	—	—	3	1	—	4

※ 数値は、単年度取組数。最終年度のみ累計値。

## 「土」の保全整備

- ▶ 路面の損傷が著しい畑地帯の農道の保全対策を行い、通作と農産物輸送の効率化・安定化を目指す。
- ▶ 幅員が狭小な農道の拡幅整備を行い、農産物輸送や通作等の効率化を目指す。

## 【当該年度評価の総括】

## 1 流通経路や通作道の保全

- ▶ 保全対策計画に基づき道路整備工事を実施した。

## 2 野生鳥獣被害からの地域農業の保全

- ▶ 中山間地における農地の野生鳥獣被害を防止するため、2市町が行う鳥獣被害対策を支援した。

## ◆ 流通経路や通作道の保全

## ・農道保全による長寿命化

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 保全対策計画に基づく、保全対策 ----- 1地区を実施 ※ 赤城西	▶ 保全対策計画に基づく、保全対策 ----- 1地区を実施 ※ 赤城西	<b>C</b>
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・点検診断に基づく、道路整備工事(L=0.4km)の工事を実施した。 ・特定農業用管水路特別対策事業赤城原地区と重複する路線について、工程調整を行う必要が生じたため、施工延長が当初計画より減少した。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・引き続き点検診断に基づく、道路整備工事(L=1.7km)を実施する。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
基幹的な農道の保全対策の実施延長 [km]						
目 標	—	—	3.0	6.1	6.1	6.1
実 績	2.8	2.8	2.8	2.8	3.2	4.0

※ 数値は、累計値。

## ◆ 野生鳥獣被害からの地域農業の保全

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 侵入防止柵等の設置 ----- 2市町を支援 ※ 沼田市、みなかみ町	▶ 侵入防止柵等の設置 ----- 2市町を支援 ※ 沼田市、片品村、昭和村、みなかみ町	<b>A</b>
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・沼田市池田地区の工事を支援し、完了した。 ・みなかみ町の小規模農村整備事業の獣害防止電気柵の事業を支援した。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・引き続き鳥獣被害対策として、侵入防止柵設置の支援を行う。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
野生鳥獣被害防止対策を支援した市町村数 [市町村]						
目標	—	—	4	3	3	4
実績	(4)	—	4	3	4	4

※ 基準年の( )内は、過去4年間(H25~27)の実績であり、4年間で同数の実施・支援を目指した。  
数値は、単年度取組数。なお、最終年度は市町村(年度の重複を除く)の累計値。

## 「里」の保全整備

- ▶ 老朽化した石綿セメント管から硬質塩化ビニル管等への転換により、石綿の飛散による被害を防止するとともに、地域の主要産業である農業が将来にわたって安全・安心・安定的に継続されることを目指す。
- ▶ 耐震性を有していないため池について適切な対策を行い、安全・安心な地域づくりと水利施設の機能確保による農業の安定化を目指す。
- ▶ 農業集落排水施設の機能維持により、住みやすい農村環境の保全を図る。

## 【当該年度評価の総括】

## 1 石綿セメント管による被害防止と農業の安定

- ▶ 漏水事故の際、被害が大きい幹線管水路の更新を先行実施したため、支線管水路の更新が進まず、石綿セメント管の撤去は進捗しなかった。

## 2 安全な農村づくり

- ▶ 防災ため池について、耐震化(堤体補強)に関連する取水施設の整備を実施した。
- ▶ 本年度から重点ため池が28箇所となったため、関係市町村を支援し、共同点検を行うとともに、来年度耐震、豪雨及びハザードマップ作成を行う事業化について、支援した。

## 3 生活水準の維持・保全

- ▶ 機能保全対策に基づき、事業化した機能保全対策を行う1村の実施設計を支援した。

## 4 中山間地域の振興

- ▶ みなかみ町及び川場村において、棚田保全活動(3地区)等を支援した。

## ◆ 石綿セメント管による被害防止と農業の安定

	計 画	実 績	評価
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 農業用管水路の改修 ----- 1地区を実施</li> <li>※ 赤城原</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 農業用管水路の改修 ----- 1地区を実施</li> <li>▶ 赤城原</li> </ul>	D
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・石綿セメント管から硬質塩化ビニル管等への布設替え工事を実施するとともに、石綿セメント管の撤去を進める。		
現状分析課題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・布設した塩ビ管等を設置後に石綿セメント管を撤去する予定のため、撤去延長は目標を下回っているが、布設した塩ビ管等の整備は目標23.4kmに対して17.8kmの実績である。 ・旧管(石綿セメント管)は農地内に埋設されているため営農期間は撤去ができず、施工時期が限定されるが、撤去可能区間は順次撤去を進める。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
石綿セメント管の撤去延長 [km]						
目標	—	—	6.2	12.6	19.5	24.4
実績	2.4	2.9	2.9	4.0	4.4	5.9

※ 数値は、累計値。

## ◆ 安全な農村づくり

## ・ため池の保全

	計 画	実 績	評価
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 防災ため池の震災対策 ----- 1 地区を実施</li> <li>※ 池田</li> <li>▶ 改修が必要なため池の保全整備 ----- 1 地区を実施</li> <li>※ 三峰第 1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 防災ため池の震災対策 ----- 1 地区を実施</li> <li>※ 池田</li> <li>▶ 改修が必要なため池の保全整備 ----- 2 地区を実施</li> <li>※ 三峰第 1、宇楚井</li> </ul>	A
これまでの取組内容	<p><b>(今年度の取組内容)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・池田ため池では、震災対策工事（堤体補強工、洪水吐更新）を実施する。</li> <li>・三峰第 1 ため池では、保全対策工事（遮水シート工）に着手した。</li> <li>・宇楚井ため池では、実施設計を行った。</li> </ul>		
現状分析 課 題 今後の予定	<p><b>(現状分析・課題・今後の予定)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、池田ため池及び三峰第 1 ため池は堤体補強工事を行う。</li> <li>・宇楚井ため池では耐震工事を行う。</li> </ul>		

## ・ため池の共同点検

	計 画	実 績	評価
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ため池管理者との共同点検 ----- 8ヶ所を実施</li> <li>※ 宇楚井、生枝第 2、堀廻第 1・第 2、鎌田、権現上・下、池田</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市町村との共同点検 ----- 28ヶ所を実施</li> <li>※ 防災重点ため池 28箇所</li> </ul>	A
これまでの取組内容	<p><b>(今年度の取組内容)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内全ての防災重点ため池について、関係市町村及びため池管理者と共同点検を実施した。</li> </ul>		
現状分析 課 題 今後の予定	<p><b>(現状分析・課題・今後の予定)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き関係市町村及びため池管理者が行う共同点検を支援する。</li> </ul>		

## ・農業水利施設（ため池を除く）における耐震性能の確認

	計 画	実 績	評価
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 施設監視（耐震）の支援 ----- 2 地区（6 施設）を支援</li> <li>※ 沼田平（2 施設）、赤谷川沿岸（4 施設）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 施設監視の支援 ----- 4 地区を支援</li> <li>▶ 沼田平、赤谷川沿岸、追貝平、赤城北ろく</li> </ul>	A
これまでの取組内容	<p><b>(今年度の取組内容)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設監視の方法や対応方針について、関係する土地改良区と個別に打合せを行った。</li> </ul>		
現状分析 課 題 今後の予定	<p><b>(現状分析・課題・今後の予定)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き関係する農業水利施設（ため池を除く）管理者が行う施設監視を支援する。</li> </ul>		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
耐震性能を確認した農業水利施設(ため池除く)数 [施設]						
目 標	—	—	—	5	6	6
実 績	—	—	—	6	6	6

※ 数値は、単年度取組数。

## ◆ 生活水準の維持・保全

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 農業集落排水事業の最適整備構想に基づく保全対策の支援 ----- 1村を支援 ※ 昭和村	▶ 農業集落排水事業の最適整備構想に基づく保全対策の支援 ----- 1村を支援 ※ 昭和村	A
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・昭和村担当者と個別打合せを行い、本年度の設計業務が円滑に進められるように支援した。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・実施設計が年度内に完了し、来年度の対策工事が円滑に進められるよう、昭和村を支援する。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
農業集落排水施設の最適整備構想策定市町村数 [市町村]						
目 標	—	—	2	3	4	4
実 績	1	1	2	3	4	4

※ 数値は、累計値。

## 「協働」

- 緑とうるおい豊かな地域資源の保全を目的とした協働を支援し、多面的機能の維持・発揮を図るとともに、次世代に地域資源を引き継ぐことを目指す。
- 地域の共同活動の推進により、地域コミュニティ機能の発揮を促進し、農村振興を図る。

## 【当該年度評価の総括】

## 1 協働活動への支援

- 農地や農業用施設などの保全管理や地域活性化へ取り組む 63 組織 (3,597ha)、並びに、農業用施設の長寿命化に取り組む 25 組織 (2,220ha) の活動を支援し、農業生産基盤や多面的機能の維持・保全が図られた。

## ◆ 農地維持・資源向上・長寿命化

	計 画	実 績	評価
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域資源の維持・保全が図られた農地面積 ----- 3,473 ha を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域資源の維持・保全が図られた農地面積 ----- 3,597 ha を支援</li> </ul>	<b>A</b>
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・新たに協働活動を検討する地域に対し、昭和村と連携し、活動団体向けの説明会を行った。 ・すべての活動団体に対してフォローアップを行った。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・引き続き新たに協働活動を検討する地域に対し、関係市町村と連携して支援を行う。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
<b>多面的機能の維持・発揮が図られた農業集落数 [集落]</b>						
目 標	—	—	64	66(65)	67(66)	75(68)
実 績	63	64	66	67	75	79
<b>農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積 [ha]</b>						
目 標	—	—	3,070	3,301	3,270	3,473
実 績	3,046	3,052	3,301	3,301	3,465	3,597

※ 数値は、累計値。

※ 実績値が H31(R 元)目標値を超えた場合、次年度の目標値に前年度の実績値を標記し、当初目標値を括弧で標記。

## ◆ 地域の実情に即した将来像の検討

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 構想づくりの検討 ----- モデル地区 1 地区の支援	▶ 構想づくりの検討 ----- モデル地区 1 地区の支援	A
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・片品村と連携して上郷地域の構想づくりの支援を行った。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・引き続き活動団体の構想づくりを支援する。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
地域構想づくり支援実施モデル地区数 [地区]						
目 標	—	—	—	→	→	1
実 績	—	—	—	—	—	1